

健康経営と企業パフォーマンスに関する論点整理

和田 裕 雄
安 田 行 宏

目 次

1. はじめに
2. 健康と公衆衛生学
3. 健康と経営学・経済学の学際領域
4. 健康経営に対する株式市場の評価
5. おわりに—健康経営に関する今後の課題と展望—

本稿では、健康経営と企業パフォーマンスの関係について医学の視点を踏まえた論点整理を行う。医学分野におけるアブセンティズムやプレゼンティズム等の概念は、ESG活動において、企業価値向上に向けた健康増進の重要なチャネルとなり得ることが分かる。株式市場は健康経営を評価しており、個人レベルの健康増進が企業パフォーマンス向上に至るメカニズムの理解を深めるためにも学際領域に目を向けることの重要性を論じている。

1. はじめに

本稿は、医学の視点からみた健康経営®の意義を検討しながら、ESG投資のSとしての健康増進と、企業パフォーマンスの関係に関する論点整理を行うことを目的とする。医学における健康とは、端的にいえば、肉体的・精神的のみならず、社会的にすべてにおいて満たされる状態とされ、医学にとって健康は無条件で達成すべき要諦である。

これに対して経済学では、健康を人的資本として捉えることが一般的である（Grossman [1972]、Becker [1993、2007]）（注1）。さらに近年では、「健康経営」という「従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること」で、「従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながる」と期待される」（経済産業省）という考え方に注目が集まるようになっている。



和田 裕雄（わだ ひろお）

順天堂大学大学院医学研究科 教授。1993年東京大学医学部卒業、2000年東京大学大学院医学系研究科修了・博士（医学）取得、2020年一橋大学大学院経営管理研究科修士課程修了・修士（経営管理）取得。1993年6月東京大学医学部附属病院、英国Imperial College、杏林大学医学部呼吸器内科、順天堂大学医学部公衆衛生学教室を経て、2021年10月より現職。



安田 行宏（やすだ ゆきひろ）

一橋大学大学院経営管理研究科 教授。2002年に一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了・博士（商学）取得。東京経済大学経営学部専任講師、助教授、准教授、教授、一橋大学大学院商学研究科教授を経て2018年より現職。